

# 商品先物取引業に係る ディスクロージャー資料

(平成24年3月期)

東京都港区麻布台一丁目7番2号  
神谷町サンケイビル10階

サクソバンクFX証券株式会社

# 1. 会社の概況

## ① 商号、許可年月日等

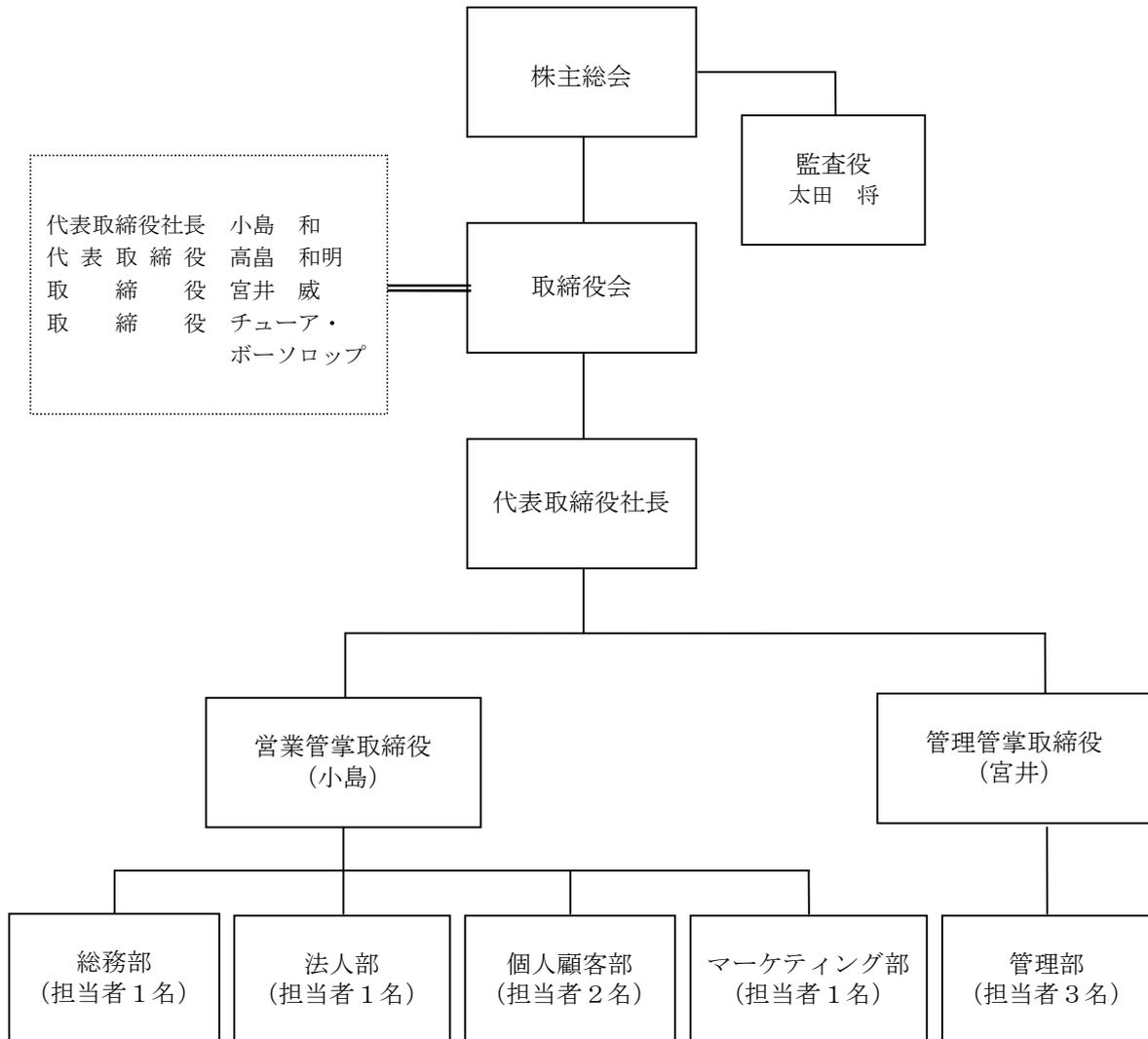
商号又は名称	サクソバンク F X証券株式会社
代表者名	代表取締役社長 小島 和
所在地	東京都港区麻布台一丁目7番2号 神谷町サンケイビル10F
電話番号	03-5545-6351
許可年月日	平成23年1月1日
加入協会名	日本商品先物取引協会

## 会社の沿革

平成18年4月	三井物産フューチャーズ株式会社（三井物産 100%子会社）全額出資にて会社設立。資本金5千万円
平成18年6月	資本金を9千万円に増資
平成18年11月	資本金を4億9千万円に増資 三井物産フューチャーズ株式会社の為替商品部を吸収し店頭デリバティブ（為替・貴金属の証拠金取引）の営業を開始
平成19年6月	三井物産フューチャーズ株式会社の全株式が三井物産株式会社からアストマックス株式会社へ譲渡 商号をアストマックス F X株式会社に変更
平成19年10月	本店を渋谷区恵比寿に移転 SAXO BANK A/S をカバー取引先とするシステムを導入
平成21年3月	SAXO BANK A/S をカバー取引先とする事業の全口座を解約 業務を休止
平成21年5月	資本金を2億円に減資
平成21年6月	SAXO BANK A/S の100%子会社となる 商号をサクソバンク F X株式会社に変更 営業を再開
平成21年7月	資本金を3億円に増資
平成21年10月	オプション取引（為替、貴金属）のサービスを開始
平成22年7月	商品CFDのサービスを開始
平成22年12月	商号をサクソバンク F X証券株式会社に変更
平成23年1月	経済産業省及び農林水産省より商品先物取引業認可取得 日本商品先物取引協会に加入

## ② 事業の内容

### (1) 経営組織



## (2) 事業の内容

### (a) 商品先物取引業

#### イ. 国内商品市場取引に係る業務

該当事項はありません。

#### ロ. 外国商品市場取引に係る業務

該当事項はありません。

#### ハ. 店頭商品デリバティブ取引に係る業務

商品先物取引法第2条第22項に掲げる店頭商品デリバティブ取引を行う業務であり、当社では貴金属証拠金取引、貴金属オプション取引及び商品CFD取引を扱っております。また、当該取引を顧客と行うにあたり、当社親会社である Saxo Bank A/S（デンマーク）をカバー取引先としております。

なお、当社で取引できる商品は以下の通りです。

取引名	当社における取扱商品
貴金属証拠金取引	金、銀
貴金属オプション取引	金、銀
商品CFD取引	シカゴコーン、CO2 排出権、UK ガソリン、金、ヒーティングオイル、シカゴ生牛、NY ココア、NY コーヒー、NY 粗糖、オレンジジュース、プラチナ、NY 銀、シカゴ大豆、UK ブレント原油、NY 銅、WTI 原油先物、US ガソリン、US 天然ガス、パラジウム、小麦

### (b) 兼業業務

当社は以下の業務を兼業業務として行っております。

#### イ. 第一種金融商品取引業である以下の業務

- ・店頭外国為替証拠金取引
- ・店頭外国為替オプション取引
- ・店頭有価証券CFD取引
- ・有価証券等管理業務

#### ロ. 金融商品取引業者の兼業業務である以下の業務

- ・顧客に対し他の事業者のあっせん又は紹介を行う業務

#### ハ. 金融商品取引業者のその他業務である以下の業務

- ・Saxo Bank A/S が行う業務にかかる紹介及びサポート業務

## ③ 営業所、事務所の状況

名称	所在地	電話番号
本店	東京都港区麻布台一丁目7番2号 神谷町サンケイビル10F	03-5545-6351

④ 財務の概要

決算年月	平成 24 年 3 月期	(千円、%)
(a) 資本金		300,000
(b) 営業収益		525,647
(c) 受取手数料		249,586
(d) トレーディング損益		-
(e) 経常損益		96,900
(f) 当期純損益		52,421
(g) 純資産額規制比率 (%)		735.3

(注) 上記数字には金融関連取引高も含まれます。

⑤ 発行済株式総数

発行済株式総数 11,800 株 (平成 24 年 3 月 31 日現在)

(注) 当社の株式は非上場です。

⑥ 上位 10 位までの株主の氏名等

氏名又は名称	保有株式数	割合
Saxo Bank A/S	11,800 株	100%
計 1 名	11,800 株	100%

⑦ 役員の状況

役職名	氏名	代表権の有無	常勤・非常勤の別
代表取締役社長	小島 和	有	常勤
代表取締役	高畠 和明	有	非常勤
取締役管理部長	宮井 威	無	常勤
取締役	チューア・ポーソロップ	無	非常勤
監査役	太田 将	無	非常勤

⑧ 役員及び使用人の数

	役員		使用人	計
		うち非常勤		
総数	5名	3名	8名	13名
うち外務員	0名	0名	4名	4名

## 2. 営業の状況

### ① 営業の経過及び成果

#### (1) 受取手数料部門

##### (a) 国内商品市場部門

該当事項はありません。

##### (b) 外国商品市場部門

該当事項はありません。

##### (c) 店頭商品デリバティブ取引

当社がサクソバンク・グループの一員となって3期目に当る当期は、事業基盤の整備からその充実に軸足を移す1年となりました。具体的には、前期までに各種店頭デリバティブ取引（商品関係では貴金属証拠金取引及び商品CFD）を一般投資家に提供する体制を整え、当期は取り扱い銘柄や顧客サービスの拡張に注力しました。例として、マーケット情報の追加や入出金に係る利便性の向上などに取り組み、成果を得ています。加えて、新たに取り扱いを開始した商品もありました。金融関連ではありますが、FXを原資産とするバイナリータッチ・オプションを、2012年3月にリリースしています。一方、新規事業の検討も並行して進め、韓国のFX業者に対してリクイディティーを供給するビジネスについては来期中の具体化に向けて目処をつけるに至っています。さらに海上運賃先物取引についても準備を進めています。

事業基盤の整備・充実が寄与した結果、当期のビジネス規模は順調に拡大しました。顧客預り証拠金（金融関連を含む）は前期末の1,583百万円から当期末は2,436百万円となり、約54%の増加をみています。年間売買高（同）についても、金額ベースで約118%の増加を達成しています。また、店頭商品デリバティブ取引の取り扱い高は、2,189百万円から12,161百万円へ、約555.5%の増加となっています。

一方、売上高（同）については前期の1,414百万円から当期は525百万円へ、約63%減少しました。しかしこれは、当社の親会社でありカバー取引先でもあるSaxo Bank A/Sとの間で、利益配分に係る取り決めを見直したことによります。この見直しは同社の本店所在地であるデンマークの税務当局の指導に基づき行われました。その結果、当社への利益配分が減少したため、売上高が低下した次第です。

このように、いわば技術的な要因によって売上高は減少しておりますが、広告宣伝費の縮小を中心とした経費削減が奏功し、税引前で96,670千円、税引後で52,421千円の純利益を計上することができました。

(2) トレーディング部門

(a) 国内商品市場部門  
該当事項はありません。

(b) 外国商品市場部門  
該当事項はありません。

(c) 店頭商品デリバティブ取引  
該当事項はありません。

② 取引開始基準

(1) 当社は、次に定める基準に適合した顧客との間で商品先物取引業務を行うものとします。

- ・当該顧客が本取引について相当の知識があり、取引の仕組みやリスク等を十分に理解していること。
- ・当該顧客について、所定の本人確認が行われていること。

(2) 当社は、次の各号の一に該当する方に対しては、本取引の勧誘及び契約を行わないこととします。ただし、dまたはgに該当する方については、資産状況や収入等を考慮し、統括責任者が認めた場合、また、eまたはfに該当する方については、300万円以上の金融資産をお持ちであり、統括責任者が認めた場合はその限りではありません。

- (a) 未成年者、成年被後見人、被保佐人、被補助人、自己破産者の方
- (b) 生活保護法被適用者の方
- (c) 長期療養者及びこれに準ずる方
- (d) 70歳以上の方
- (e) 主に恩給、年金、退職金、保険金等により生計を維持されている方
- (f) 主婦等家事に専従し、一定の所得を有しない方
- (g) 学生（勤労学生を含む）の方
- (h) 非居住者の方

(3) 前項各号に該当しない方であっても、統括責任者が判断して適格ではないと認定したときは、お取引をお断りすることがあります。

③ 顧客数（商品先物取引業）

顧客数                    1,857 名                    (平成24年3月31日現在)

### 3. 経理の状況

① 貸借対照表

別紙をご参照ください。

② 損益計算書

別紙をご参照ください。

③ 株主資本等変動計算書

別紙をご参照ください。

④ 個別注記表

別紙をご参照ください。

⑤ 監査に関する事項

このディスクロージャー資料のうち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注記表については、会社法に基づき監査役の監査を受けております。

以上

# 第 6 期

(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

# 報 告 書

会 社 概 要	事 業 報 告
計 算 書 類	等
1. 貸 借 対 照 表	
2. 損 益 計 算 書	
3. 株 主 資 本 等 変 動 計 算 書	
4. 個 別 注 記 表	
5. 付 属 明 細 書	
監 査 報 告 書 謄 本	

サクソバンク F X 証券株式会社



# 会社概要

(平成 24 年 3 月 31 日時点)

商号	サクソバンク F X 証券株式会社 英語表記 : Saxo Bank FX Securities K.K.
所在地	東京都港区麻布台一丁目 7 番 2 号神谷町サンケイビル 10 階
代表者	代表取締役社長 小島 和
設立	平成 18 年 4 月 26 日
資本金	3 億円
発行済み株式総数	11,800 株
株主	SAXO BANK A/S (本社 : デンマーク王国)
事業内容	①通貨関連デリバティブ取引の店頭取引 ②有価証券デリバティブ取引の店頭取引 ③商品デリバティブ取引の店頭取引
定款目的	①金融商品取引法に規定する金融商品取引業務 ②商品先物取引法に規定する商品先物取引業 ③前各号に付帯する一切の業務
登録	金融庁登録 第一種金融商品取引業者 登録番号 : 関東財務局長 (金商) 第 239 号
許可	経済産業省および農林水産省許可 商品先物取引業者
加入団体	一般社団法人金融先物取引業協会 日本証券業協会 日本投資者保護基金 日本商品先物取引協会
指定紛争解決機関	特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター
主要取引金融機関	三井住友銀行
ウェブサイト	<a href="http://www.saxobank.co.jp">http://www.saxobank.co.jp</a>
電子メール	<a href="mailto:info@saxobank.co.jp">info@saxobank.co.jp</a>
電話番号	03-5545-6351

# 事業報告

(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

## 1. 事業の経過と成果

### (1) 概況

当社がサクソバンク・グループの一員となって3期目に当る当期は、事業基盤の整備からその充実に軸足を移す1年となりました。具体的には、前期までに各種店頭デリバティブ取引を一般投資家に提供する体制を整え、当期は取り扱い銘柄や顧客サービスの拡張に注力しました。例として、マーケット情報の追加や入出金に係る利便性の向上などに取り組み、成果を得ています。加えて、新たに取り扱いを開始した商品もありました。FXを原資産とするバイナリータッチ・オプションを、2012年3月にリリースしています。一方、新規事業の検討も並行して進め、韓国のFX業者に対してリクイディティを供給するビジネスについては来期中の具体化に向けて目処をつけるに至っています。さらに海上運賃先物取引についても準備を進めています。

事業基盤の整備・充実が寄与した結果、当期のビジネス規模は順調に拡大しました。顧客預り証拠金は前期末の1,583百万円から当期末は2,436百万円となり、約54%の増加をみえています。年間売買高についても、金額ベースで約118%の増加を達成しています。

一方、売上高については前期の1,414百万円から当期は525百万円へ、約63%減少しました。しかしこれは、当社の親会社でありカバー取引先でもあるサクソバンクとの間で、利益配分に係る取り決めを見直したことによります。この見直しは同社の本店所在地であるデンマークの税務当局の指導に基づき行われました。その結果、当社への利益配分が減少したため、売上高が低下した次第です。

このように、いわば技術的な要因によって売上高は減少しておりますが、広告宣伝費の縮小を中心とした経費削減が奏功し、税引前で96,670千円、税引後で52,421千円の純利益を計上することができました。

### (2) 業務体制等

組織・人員についてですが、サクソバンク・グループのリソースを一部活用し、会計業務についてはアウトソーシングするという従来からの体制に変更はありませんでしたが、人員は2名減少しました。これは、営業嘱託社員との契約を解消したことによります。これに伴い、人件費が約22%縮小しています。

コンプライアンス部門の人員は責任者を含めて3名を維持しており、サクソバンクのコンプライアンス部門とも連携しています。一昨年行われたグループの内部監査に関するフォローが実施されたほか、コンプライアンス担当者が来日し、法令遵守体制等について意見交換を行っています。加えて、7月には関東財務局による臨店検査が行われました。検査結果通知書では、特に指摘事項はないとの結果をいただいております。ただ、口頭ではいくつかのご指摘を受けましたので、そうした点を踏まえてコンプライアンスの一層の徹底をはかっていく所存です。

最後に、自己資本規制比率および純資産額規制比率については、純資産の増加と基礎リスクの低下に伴い、前期末の340.8%および353.7%から、当期末は687.6%および735.3%にそれぞれ上昇しています。

## 2. 業務の適正を確保するための体制

### (1) 取締役および使用人の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制

当社はコンプライアンスを業務執行の最重要命題と認識し、基本的な行動の指針として「役職員行動規範」を制定しています。全役職員は、これにもとづいて法令や社会規範および社内規則を遵守し、倫理に則した活動を行います。また、業務に関するより具体的な指針・規則として「倫理コード」「従業員服務規程」を定めています。

それらの遵守徹底を推進する方策としては、まずコンプライアンス委員会の設置をあげることができます。本委員会は、コンプライアンス意識の徹底・向上を進めるための教育活動を行うとともに、問題や課題を早期に発見して適切な対処を行えるよう、毎月1回定例の会合を行っています。さらには、委員長長の招集により随時開催する体制を敷いています。

万が一コンプライアンス違反が発生した場合は、経営陣自ら問題解決にあたり、原因追及、再発防止に努めるとともに、必要に応じてコンプライアンス懲戒委員会に諮問し、責任を明確にした上で公正妥当な処分を行います。

上記のほか、管理部によるコンプライアンス関係の研修も実施されています。

### (2) 取締役の職務の執行に係る情報の保存および管理に関する体制

取締役の職務の執行に係る以下の情報については、文書または電磁的記録により適切に保存および管理を行っています。

- ①株主総会議事録、取締役会議事録それらの関連資料
- ②各種委員会その他重要会議の議事の経過およびその関連資料
- ③代表取締役を決裁者とする稟議書およびその他重要な社内申請書類

- ④会計帳簿、計算書類、重要な契約書、官公庁その他公的機関に提出した書類の写し等その他重要文書

(3) 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

損失の危険（リスク）の管理については、「リスク管理に係る基本方針」を定めるとともに、リスクの種類に応じて対応を定めています。

財務上のリスクについては、金融商品取引法の規定ならびに「リスク管理規程」に基づき、毎営業日において把握しています。また、事務上のリスクについては、マニュアルを整備してコントロール機能を明確化しています。システムリスクについては「システムリスク管理規程」を定め、対策および問題発生時の対応を明確化しています。大規模災害等のリスクについては、「事業継続に係る対策規程」を制定し、被害を最小限に食い止め利害関係者への影響を最小化するための方策を明確にしています。

(4) 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

当社は取締役会を設け、定時取締役会を毎月1回開催し、臨時取締役会を必要に応じて随時開催しています。取締役会は、代表取締役および取締役の職務執行が効率的かつ適正に行われているかの監督を行います。

また、取締役会の意思決定機能を補完する制度として、稟議制度を構築しています。合議制による意思決定のもとでその迅速化を図るため、「稟議規程」に基づいて運営され、取締役会付議事項に次ぐ重要な決議事項の決済を行っています。

# 計 算 書 類 等

---

1. 貸借対照表
2. 損益計算書
3. 株主資本等変動計算書
4. 個別注記表
5. 付属明細書

# 貸借対照表

平成24年3月31日現在

サクソバンクFX証券株式会社

(単位: 円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 3,284,881,444 】	【流動負債】	【 2,433,387,378 】
現金預金	522,515,423	その他未払金	10,298,683
金銭信託	2,525,000,000	営業未払金	4,262,871
営業未収入金	2,002,942	関係会社未払金	1,341,164
カバー取引相手方差金	△ 35,559,397	未払費用	3,524,412
貯蔵品	2,000	未払法人税等	145,000
前払費用	19,488,390	未払消費税等	1,173,330
差入保証金	145,465,970	預り金	5,320,628
未収還付法人税等	98,626,400	預り顧客証拠金	2,435,984,652
預託金	2,000,000	仮受金	250,000
仮払金	5,317,773	外国為替取引顧客差金	△ 35,559,397
未収収益	21,943	繰延税金負債	6,646,035
【固定資産】	【 57,547,849 】	負債の部合計	2,433,387,378
(有形固定資産)	( 26,143,387 )	純資産の部	
内部造作	22,059,652	【株主資本】	【 909,041,915 】
器具備品	25,376,047	(資本金)	( 300,000,000 )
減価償却累計額	△ 21,292,312	(利益剰余金)	( 609,041,915 )
(無形固定資産)	( 2,688,557 )	その他利益剰余金	609,041,915
ソフトウェア	2,436,807	繰越利益剰余金	609,041,915
商標権	251,750	純資産の部合計	909,041,915
(投資その他の資産)	( 28,715,905 )		
長期前払費用	4,115,334		
敷金等	23,670,504		
繰延税金資産	830,067		
長期差入保証金	100,000		
資産の部合計	3,342,429,293	負債・純資産の部合計	3,342,429,293

# 損益計算書

自 平成23年4月1日 至平成24年3月31日

サクソバンクFX証券株式会社

(単位: 円)

科 目	金 額	
売上高		524,632,105
売上総利益		524,632,105
販売費及び一般管理費		428,747,102
営業利益		95,885,003
営業外収益		
受取利息	1,117,441	
雑収入	69,913	1,187,354
営業外費用		
支払利息	140,167	
雑損失	31,966	172,133
経常利益		96,900,224
特別損失		
固定資産除却損	230,196	230,196
税引前当期純利益		96,670,028
法人税、住民税及び事業税	24,152,054	
法人税等調整額	20,096,378	44,248,432
当期純利益		52,421,596

## 株主資本等変動計算書

自 平成23年4月1日 至平成24年3月31日

サクソバンクFX証券株式会社

(単位: 円)

	株主資本				純資産合計
	資本金	利益剰余金		株主資本合計	
		その他利益剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	300,000,000	547,766,309	547,766,309	847,766,309	847,766,309
誤謬の訂正による累積的影響額	-	8,854,010	8,854,010	8,854,010	8,854,010
遡及処理後当期首残高	300,000,000	556,620,319	556,620,319	856,620,319	856,620,319
当期変動額					
当期純利益		52,421,596	52,421,596	52,421,596	52,421,596
当期変動額合計	-	52,421,596	52,421,596	52,421,596	52,421,596
当期末残高	300,000,000	609,041,915	609,041,915	909,041,915	909,041,915

## 個 別 注 記 表

### 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) デリバティブの評価基準及び評価方法

時価法を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却方法

- ・有形固定資産・・・定率法によっております。
- ・無形固定資産・・・定額法（自社利用のソフトウェアは社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法）によっております。

(3) 収益の計上基準

買付け又は売付けの取引成立時、転売又は買戻し及び受渡しによる決済時にそれぞれ手数料収益を認識しております。

(4) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

### 2. 誤謬の訂正に関する注記

(1) 当該誤謬の内容

前事業年度の決算確定後に、前事業年度に帰属する関係会社からの受取手数料の追加額15,886,110円が判明いたしました。

(2) 当該事業年度の期首における純資産額に対する影響額

前事業年度における上記の売上高（受取手数料）15,886,110円、及び、それに伴う販売費及び一般管理費（租税公課）80,100円、法人税、住民税及び事業税6,952,000円の遡及計上処理の結果、株主資本等変動計算書の利益剰余金の遡及適用後の期首残高は8,854,010円増加しております。

### 3. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当該事業年度の末日における発行済株式の数

当該事業年度の末日における発行済株式の数は、11,800株であります。

## 販売費及び一般管理費の明細

自平成23年4月1日 至平成24年3月31日

サクソバンクFX証券株式会社

(単位:円)

科目	金額	摘要
役員報酬	33,313,274	
給料手当	59,877,739	
賞与	8,510,490	
法定福利費	9,752,406	
福利厚生費	488,899	
報酬	26,054,240	
IR関連費用	174,500	
業務委託料	2,623,610	
図書調査費	732,976	
事務用品費	1,743,266	
旅費交通費	3,677,359	
通信費	11,303,670	
接待交際費	1,215,192	
会議費	134,917	
広告宣伝費	163,173,482	
器具備品費	45,800	
水道光熱費	1,184,247	
地代家賃	28,846,710	
事務所維持費	1,161,720	
保険料	5,564,989	
教育訓練費	604,026	
電算機費	10,344,699	
租税公課	2,123,200	
諸会費	6,493,140	
減価償却費	7,324,682	
支払手数料	32,889,000	
銀行手数料	9,388,869	
合計	428,747,102	

## 有形固定資産及び無形固定資産の明細

自平成23年4月1日 至平成24年3月31日

サクソバンク FX 証券株式会社

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	当期償却額	期末帳簿価額	償却累計額	期末取得原価
有形 固定 資産	内部造作	17,945,638	-	-	2,592,961	15,352,677	6,706,975	22,059,652
	器具備品	14,007,325	1,117,524	230,196	4,103,943	10,790,710	14,585,337	25,376,047
	計	31,952,963	1,117,524	230,196	6,696,904	26,143,387	21,292,312	47,435,699
無形 固定 資産	ソフトウェア	1,796,485	1,236,300	-	595,978	2,436,807		
	商標権	283,550	-	-	31,800	251,750		
	計	2,080,035	1,236,300	-	627,778	2,688,557		

(注) 当期増減の主な内容

- (1) 器具備品の主な増加は、事務用家具の購入に伴うものである。(809,524円)
- (2) ソフトウェアの主な増加は、ウェブサイトの作成等に伴うものである。(1,236,300円)

## 監査報告書

当監査役は、平成23年4月1日から平成24年3月31日までの第6期事業年度の取締役の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査の方法及びその内容

監査役は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めると共に、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社において業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

更に、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

### 2. 監査の結果

#### (1) 事業報告等の監査結果

- 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

#### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

平成24年5月29日

サクソバンク FX 証券株式会社

監査役 太田 将



以上

# 第 5 期

(平成 22 年 4 月 1 日－平成 23 年 3 月 31 日)

# 報 告 書

## 修 正 版

当社は、当期の決算完了後に売上高を修正する必要が生じたことから、法令に基づきその手続きを行った。本報告書は、修正後の計算書類に基づき作成されたものである。

会 社 概 要
事 業 報 告
計 算 書 類 等
1. 貸 借 対 照 表
2. 損 益 計 算 書
3. 株 主 資 本 等 変 動 計 算 書
4. 個 別 注 記 表
5. 付 属 明 細 書

サクソバンク F X 証券株式会社



# 会社概要

(平成 23 年 3 月 31 日時点)

商号	サクソバンク F X 証券株式会社 英語表記 : Saxo Bank FX Securities K.K.
所在地	東京都港区麻布台一丁目 7 番 2 号神谷町サンケイビル 10 階
代表者	代表取締役社長 小島 和
設立	平成 18 年 4 月 26 日
資本金	3 億円
発行済み株式総数	11,800 株
株主	SAXO BANK A/S (本社 : デンマーク王国)
事業内容	①通貨関連デリバティブ取引の店頭取引 ②有価証券デリバティブ取引の店頭取引 ③商品デリバティブ取引の店頭取引
定款目的	①金融商品取引法に規定する金融商品取引業務 ②商品先物取引法に規定する商品先物取引業 ③前各号に付帯する一切の業務
登録	金融庁登録 第一種金融商品取引業者 登録番号 : 関東財務局長 (金商) 第 239 号
許可	経済産業省および農林水産省許可 商品先物取引業者
加入団体	社団法人金融先物取引業協会 日本証券業協会 日本投資者保護基金 日本商品先物取引協会
指定紛争解決機関	特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター
主要取引金融機関	三井住友銀行
ウェブサイト	<a href="http://www.saxobank.co.jp">http://www.saxobank.co.jp</a>
電子メール	<a href="mailto:info@saxobank.co.jp">info@saxobank.co.jp</a>
電話番号	03-5545-6351

# 計 算 書 類 等

---

1. 貸借対照表
2. 損益計算書
3. 株主資本等変動計算書
4. 個別注記表
5. 付属明細書

# 事業報告

(平成22年4月1日－平成23年3月31日)

## 1. 事業の経過と成果

当社がサクソバンク・グループの一員となって2期目に当る当期は、ビジネス拡大に向けて、事業基盤の整備に積極的に取り組んだ1年でした。その柱となったのがCFD（差金決済取引）です。前期の時点から体制構築に必要な人材の確保や関係団体への加入準備を進めていましたが、6月になって投資者保護基金に加入。7月には日本証券業協会への加入が承認され、これと同時に株価指数CFDと商品CFDを当社ラインアップに加えしました。

さらに、12月には個別株やETFを原資産としたCFDの取扱いを始めました。この結果、合計7千銘柄以上のCFDが取引可能となり、CFDについては国内最大級の品揃えを誇る業容となりました。一方、同月にはひまわり証券株式会社より、個別株CFD口座の一部について譲渡を受けています。年末年始を挟んだ顧客資産の信託契約移管も支障なく、特段の混乱を見ずに譲渡は完了しました。これによって当社のCFD関係のビジネス規模が大きく拡大することとなった次第です。

このように、当期の営業施策ではCFD関係が大きな比重を占め、それにより有価証券関連商品を取り扱うこととなったことから、12月1日付けで商号をサクソバンクFX株式会社改めサクソバンクFX証券株式会社に変更しております。

一方、CFD関連以外でもいくつか注力したことがあります。一つは、従来からの主商品であったFX（外国為替証拠金取引）のサービス充実であり、11月にはお客様に一層の利便性を供するためオプション・ボードをリリースしました。また当期は、当社の知名度を高めるための活動も積極的に行っています。初めてテレビCMの放送に取り組んだほか、サクソバンクがサイクリングチームのスポンサーとなっていることから、ロードレース・イベントとのタイアップなども実施しました。

こうした企業活動はコンプライアンス最重視の姿勢のもとで行われたことは言うまでもありませんが、当期は新たに施行された規制も多い1年でした。8月からFXについてはいわゆる証拠金規制が施行され、最大レバレッジの上限が設けられるなどしました。弊社では取引システムのベンダーでもある親会社サクソバンクと早い時点から検討を重ね、お客

様への周知も徹底をはかりました。その結果、施行にあたって特に混乱はなく、収益上も目立った影響は見られませんでした。

平成 23 年に入ると、金融商品取引法が改正施行され、同時に商品先物取引法が新たに施行されました。これにより、証券 C F D および商品 C F D においても証拠金規制等が導入されましたが、遺漏なく対応することができました。また、日本商品先物取引協会に加入し、第 1 種金融商品取引業者に加えて、商品先物取引業者としての体制も整うこととなりました。

3 月に発生した大震災への対応については、コールセンターのある宮崎に業務の一部を移管するとともに、その他の役職員は在宅勤務とし、1 週間あまりは B C P に則した緊急時体制をとりましたが、大きな支障をきたすことなく業務を遂行することができたと評価しています。

上記の企業活動の結果、売上高 1,414 百万円（前期比+113.2%）、営業利益 582 百万円（同+64.6%）、経常利益 586 百万円（同+65.5%）、純利益 340 百万円（同+65.6%）となりました。また、総資産 2,686 百万円（同+165.7%）、純資産 856 百万円（同+66.1%）と、資産規模も高い成長を見せています。前期が営業再開の初年度でゼロからの再出発であったため、比較の対象となる数字がもともと小さいという事情はありますが、一定の成果を残すことができた第 2 期でした。

## 2. 業務の適正を確保するための体制

### (1) 取締役および使用人の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制

当社はコンプライアンスを業務執行の最重要命題と認識し、基本的な行動の指針として「役職員行動規範」を制定しています。全役職員は、これにもとづいて法令や社会規範および社内規則を遵守し、倫理に則した活動を行います。また、業務に関するより具体的な指針・規則として「倫理コード」「従業員服務規程」を定めています。

それらの遵守徹底を推進する方策としては、まずコンプライアンス委員会の設置をあげることができます。本委員会は、コンプライアンス意識の徹底・向上を進めるための教育活動を行うとともに、問題や課題を早期に発見して適切な対処を行えるよう、毎月1回定例の会合を行っています。さらには、委員長招集により随時開催する体制を敷いています。

万が一コンプライアンス違反が発生した場合は、経営陣自ら問題解決にあたり、原因追及、再発防止に努めるとともに、必要に応じてコンプライアンス懲戒委員会に諮問し、責任を明確にした上で公正妥当な処分を行います。

上記のほか、管理部によるコンプライアンス関係の研修も実施されています。

### (2) 取締役の職務の執行に係る情報の保存および管理に関する体制

取締役の職務の執行に係る以下の情報については、文書または電磁的記録により適切に保存および管理を行っています。

- ①株主総会議事録、取締役会議事録それらの関連資料
- ②各種委員会その他重要会議の議事の経過およびその関連資料
- ③代表取締役を決裁者とする稟議書およびその他重要な社内申請書類
- ④会計帳簿、計算書類、重要な契約書、官公庁その他公的機関に提出した書類の写し等その他重要文書

### (3) 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

損失の危険（リスク）の管理については、「リスク管理に係る基本方針」を定めるとともに、リスクの種類に応じて対応を定めています。

財務上のリスクについては、金融商品取引法の規定ならびに「リスク管理規程」に基づき、毎営業日において把握しています。また、事務上のリスクについては、マニュアルを整備してコントロール機能を明確化しています。システムリスクについては「システムリスク管理規程」を定め、対策および問題発生時の対応を明確化しています。大規

模災害等のリスクについては、「事業継続に係る対策規程」を制定し、被害を最小限に食い止め利害関係者への影響を最小化するための方策を明確にしています。

#### (4) 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

当社は取締役会を設け、定時取締役会を毎月1回開催し、臨時取締役会を必要に応じて随時開催しています。取締役会は、代表取締役および取締役の職務執行が効率的かつ適正に行われているかの監督を行います。

また、取締役会の意思決定機能を補完する制度として、稟議制度を構築しています。合議制による意思決定のもとでその迅速化を図るため、「稟議規程」に基づいて運営され、取締役会付議事項に次ぐ重要な決議事項の決済を行っています。

# 貸借対照表

平成23年3月31日現在

サクソバンクFX証券株式会社

(単位: 円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【流動資産】</b>	<b>【 2,620,435,446 】</b>	<b>【流動負債】</b>	<b>【 1,829,749,751 】</b>
現金預金	673,916,137	その他未払金	13,134,682
金銭信託	1,726,973,743	営業未払金	39,234,387
営業未収入金	5,636,376	関係会社未払金	23,029,498
カバー取引相手方差金	△ 10,163,727	未払費用	3,353,106
関係会社未収入金	26,923,858	未払法人税等	173,382,300
前払費用	22,212,993	預り金	3,394,630
差入保証金	153,563,974	預り顧客証拠金	1,583,488,645
未収還付消費税	3,442,822	仮受金	10,000
繰延税金資産	12,520,121	仮受消費税	886,230
預託金	2,000,000	外国為替取引顧客差金	△ 10,163,727
仮払金	3,393,770	<b>負債の部合計</b>	<b>1,829,749,751</b>
未収収益	15,379	<b>純資産の部</b>	
<b>【固定資産】</b>	<b>【 65,934,624 】</b>	<b>【株主資本】</b>	<b>【 856,620,319 】</b>
(有形固定資産)	( 31,952,963 )	(資本金)	( 300,000,000 )
内部造作	22,059,652	(利益剰余金)	( 556,620,319 )
器具備品	24,624,548	その他利益剰余金	556,620,319
減価償却累計額	△ 14,731,237	繰越利益剰余金	556,620,319
(無形固定資産)	( 2,080,035 )	<b>純資産の部合計</b>	<b>856,620,319</b>
ソフトウェア	1,796,485		
商標権	283,550		
(投資その他の資産)	( 31,901,626 )		
長期前払費用	3,413,001		
敷金等	26,628,336		
繰延税金資産	1,760,289		
長期差入保証金	100,000		
<b>資産の部合計</b>	<b>2,686,370,070</b>	<b>負債・純資産の部合計</b>	<b>2,686,370,070</b>

# 損益計算書

自 平成22年4月1日 至平成23年3月31日

サクソバンクFX証券株式会社

(単位: 円)

科 目	金 額	
売上高		1,414,757,462
売上総利益		1,414,757,462
販売費及び一般管理費		832,210,649
営業利益		582,546,813
営業外収益		
受取利息	3,720,053	
雑収入	261,926	3,981,979
営業外費用		
雑損失	351,045	351,045
経常利益		586,177,747
税引前当期純利益		586,177,747
法人税、住民税及び事業税	245,200,091	
法人税等調整額	111,305	245,311,396
当期純利益		340,866,351

# 株主資本等変動計算書

自 平成22年4月1日 至平成23年3月31日

サクソバンクFX証券株式会社

(単位: 円)

	株主資本				純資産合計
	資本金	利益剰余金		株主資本合計	
		その他利益剰余金	利益剰余金 合計		
前期末残高	300,000,000	215,753,968	215,753,968	515,753,968	515,753,968
当期変動額					
当期純利益		340,866,351	340,866,351	340,866,351	340,866,351
当期変動額合計	-	340,866,351	340,866,351	340,866,351	340,866,351
当期末残高	300,000,000	556,620,319	556,620,319	856,620,319	856,620,319

## 個 別 注 記 表

### 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) デリバティブの評価基準及び評価方法

時価法を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却方法

- ・有形固定資産・・・定率法によっております。
- ・無形固定資産・・・定額法（自社利用のソフトウェアは社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法）によっております。

(3) 収益の計上基準

買付け又は売付けの取引成立時、転売又は買戻し及び受渡しによる決済時にそれぞれ手数料収益、またはスプレッド収益の発生を認識しております。

(4) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

### 2. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当該事業年度の末日における発行済株式の数

当該事業年度の末日における発行済株式の数は、11,800株であります。

## 販売費及び一般管理費の明細

自平成22年4月1日 至平成23年3月31日

サクソバンクFX証券株式会社

(単位:円)

科目	金額	摘要
役員報酬	37,298,484	
給料手当	60,871,812	
賞与	20,589,726	
法定福利費	12,746,126	
福利厚生費	754,349	
報酬	25,488,518	
IR関連費用	276,000	
業務委託料	3,001,821	
図書調査費	730,571	
事務用品費	3,163,166	
旅費交通費	5,174,589	
通信費	10,786,376	
接待交際費	2,519,084	
会議費	133,548	
広告宣伝費	255,114,672	
水道光熱費	1,155,357	
地代家賃	22,929,570	
事務所維持費	1,076,010	
修繕費	100,000	
保険料	5,408,387	
教育訓練費	1,914,605	
電算機費	11,268,116	
租税公課	4,568,600	
諸会費	8,150,465	
減価償却費	8,131,739	
支払手数料	322,958,342	
銀行手数料	5,900,616	
合計	832,210,649	

## 有形固定資産及び無形固定資産の明細

自平成22年4月1日 至平成23年3月31日

サクソバンク FX 証券株式会社

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	当期償却額	期末帳簿価額	償却累計額	期末取得原価
有形 固定 資産	内部造作	14,437,667	5,833,000	-	2,325,029	17,945,638	4,114,014	22,059,652
	器具備品	16,503,482	2,832,280	-	5,328,437	14,007,325	10,617,223	24,624,548
	計	30,941,149	8,665,280	-	7,653,466	31,952,963	14,731,237	46,684,200
無形 固定 資産	ソフトウェア	2,070,458	172,500	-	446,473	1,796,485		
	商標権	315,350	-	-	31,800	283,550		
	計	2,385,808	172,500	-	478,273	2,080,035		

(注) 当期増減の主な内容

以下の資産の主な増加は、オフィスの増床に伴うものである。

- (1) 内部造作・・・5,833,000円
- (2) 器具備品・・・2,472,280円

# 監査報告書

監査役は、平成22年4月1日から平成23年3月31日までの第5期事業年度に係る計算書類及びその附属明細書を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

## 1. 監査の方法及びその内容

監査役は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、会社の業務および財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の遂行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

平成23年5月10日

サクソバンクFX証券株式会社

監査役 太田 将



以上